

マンツーマン入浴の実施について

安全でゆとりある入浴を目指して

特別養護老人ホーム 天間荘
介護士 高橋利典 下村裕子
2010年 7月20日

目次

- 【マンツーマン入浴導入前の問題点】……………P1～P2
- 【取り組んだ課題】……………P3
- 【具体的な取り組み】……………P4～P8
 - 職員の入浴に対する意識改革
 - 入浴方法及びハード面の改善
 - 入浴誘導の見直し及び業務の見直し
 - 職員へ入浴介護技術の指導
 - マンツーマン入浴の実践
- 【活動の成果と評価】……………P9
- 【今後の課題】……………P10

<マンツーマン入浴導入前の問題点>

*平成20年度事故報告統計
場所別事故件数

場所	件数
1 居室	87
2 食堂	54
3 廊下・居室前	42
4 浴室・脱衣所	15
5 トイレ	14
6 バブリック	5
7 送迎	4
8 訪問先	2
9 その他	32
合計	255

入浴中の事故多発!

転倒 3件
転落 2件
ずり落ち 1件
その他 9件

<マンツーマン入浴導入前の問題点>

これまでの入浴を検証してみると…

- ・流れ作業的な入浴(数人の職員が誘導、着脱、洗身を担当し同時に多数の利用者を入浴)
 - ・介護者側の判断で入浴方法を決定(介助しやすい浴槽で入浴方法を決定し実施)
- ↓
- ・プライバシーや安全面への配慮に問題
 - ・ご利用者の入浴に対する不安や不満、自己選択の機会の喪失

安全でゆったり、楽しく入浴してもらうには?

入浴方法の見直し
入浴環境の改善
利用者ニーズの把握

<取り組んだ課題>

「安全・ゆったり・楽しいと思っただけの入浴にしよう!」を目標に…

マンツーマン入浴の導入に取り組む

- ① 職員の入浴に対する意識改革
- ② 入浴方法及びハード面の改善
- ③ 入浴誘導の見直し及び業務の見直し
- ④ 職員へ入浴介護技術の指導
- ⑤ マンツーマン入浴の実践

<具体的な取り組み>

① 意識改革

- ・入浴の疑似体験 = 利用者の視点(介助される立場)で自分たちの入浴ケアを振り返る
- ・入浴についてのアセスメント = 利用者はどんな入浴方法を望んでいるのかを理解

↓

これまでの入浴方法では問題があることを職員が認識し、解決方法としてマンツーマン入浴の必要性を検討

- ・入浴等に対する職員アンケート = マンツーマン入浴に対する職員の不安と現状の問題点を把握

<具体的な取り組み>

② 入浴方法及びハード面の改善

- ・入浴手順書の見直しと作成

見直し前

項目	内容
1. 入浴の手順	① 入浴の手順
2. 入浴の注意事項	① 入浴の手順
3. 入浴の設備	① 入浴の手順
4. 入浴の料金	① 入浴の手順
5. 入浴の予約	① 入浴の手順
6. 入浴のキャンセル	① 入浴の手順
7. 入浴の問い合わせ	① 入浴の手順
8. 入浴のその他	① 入浴の手順

見直し後

項目	内容
1. 入浴の手順	① 入浴の手順
2. 入浴の注意事項	① 入浴の手順
3. 入浴の設備	① 入浴の手順
4. 入浴の料金	① 入浴の手順
5. 入浴の予約	① 入浴の手順
6. 入浴のキャンセル	① 入浴の手順
7. 入浴の問い合わせ	① 入浴の手順
8. 入浴のその他	① 入浴の手順



※ 一般浴、特浴の手順書の変更
※ 個室、機械個室の手順書を新たに作成

— 5 —

<具体的な取り組み>

② 入浴方法及びハード面の改善

- ・機械個室の導入
- ・カーテン等の設置

③ 誘導及び業務の見直し

- ・入浴誘導の業務担当をなくす
- ・週単位の入浴連絡表の調整

— 6 —

<具体的な取り組み>

④ 入浴介助技術の指導

入浴部会

- ・部会内勉強会で技術習得
- ・外部研修で技術習得
- ・個別指導にて技術習得
- ・フロアごとの勉強会で技術習得

2F介護職員

3F介護職員

— 7 —

<具体的な取り組み>

⑤ マンツーマン入浴の実践

- ・2Fは毎週日曜日の午後のみ利用者5名を職員2名でマンツーマン入浴を実施(1人の入浴時間30~40分)
- ↓
- 6ヶ月かけ他の曜日にもマンツーマン入浴に移行
- ・3Fは2Fの入浴方法を見学してから、入浴部会員で試みにマンツーマン入浴を実施
- ↓
- 入浴手順を習得した職員がマンツーマン入浴を実施し全面移行

安全でゆとりある入浴が出来た!

— 8 —

<活動の成果と評価>

- ・職員のプライバシーへの意識の高まり
- ・職員の安全への配慮、目配り
- ・ご利用者の不安感(不満)の解消

入浴時の事故報告

H20年度 15件 → H21年度 1件

— 9 —

<今後の課題>

- ・職員の入浴介助技術の格差の解消を図る
 - ・手順書通りの入浴介助の実践を確認するシステム作り
 - ・入浴介助技術指導者の育成
 - ・手順書の見直し
- ・「楽しんで入っていただける」入浴への取り組みの充実
 - ・季節感や雰囲気のある入浴の工夫

— 10 —

ご清聴ありがとうございました